

北見市上下水道ビジョンの進捗状況について

平成25年8月29日

北見市企業局

目 次

I. 北見市上下水道ビジョン策定の経緯と背景	—————	1
II. 実施計画体系図	—————	1
III. 数値目標一覧	—————	2
IV. 主な取組み状況（平成 22～24 年度）		
◎水道事業	—————	3～4
◎下水道事業	—————	5
V. 財政収支見通し	—————	6～8
参考. <財政収支見通し、計画・実績>	—————	9
数値目標の推移（平成 23 年度末現在）	—————	10

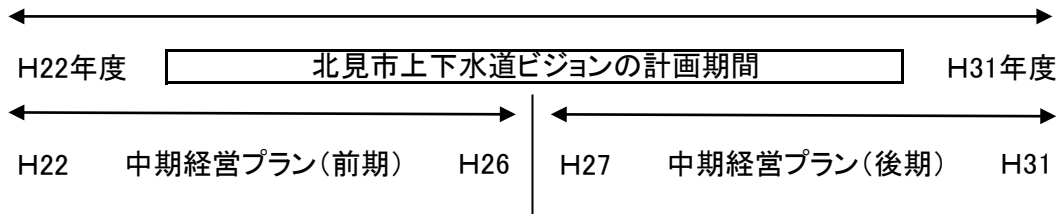
1. 北見市上下水道ビジョンの進捗状況について

I. 北見市上下水道ビジョン策定の経緯と背景

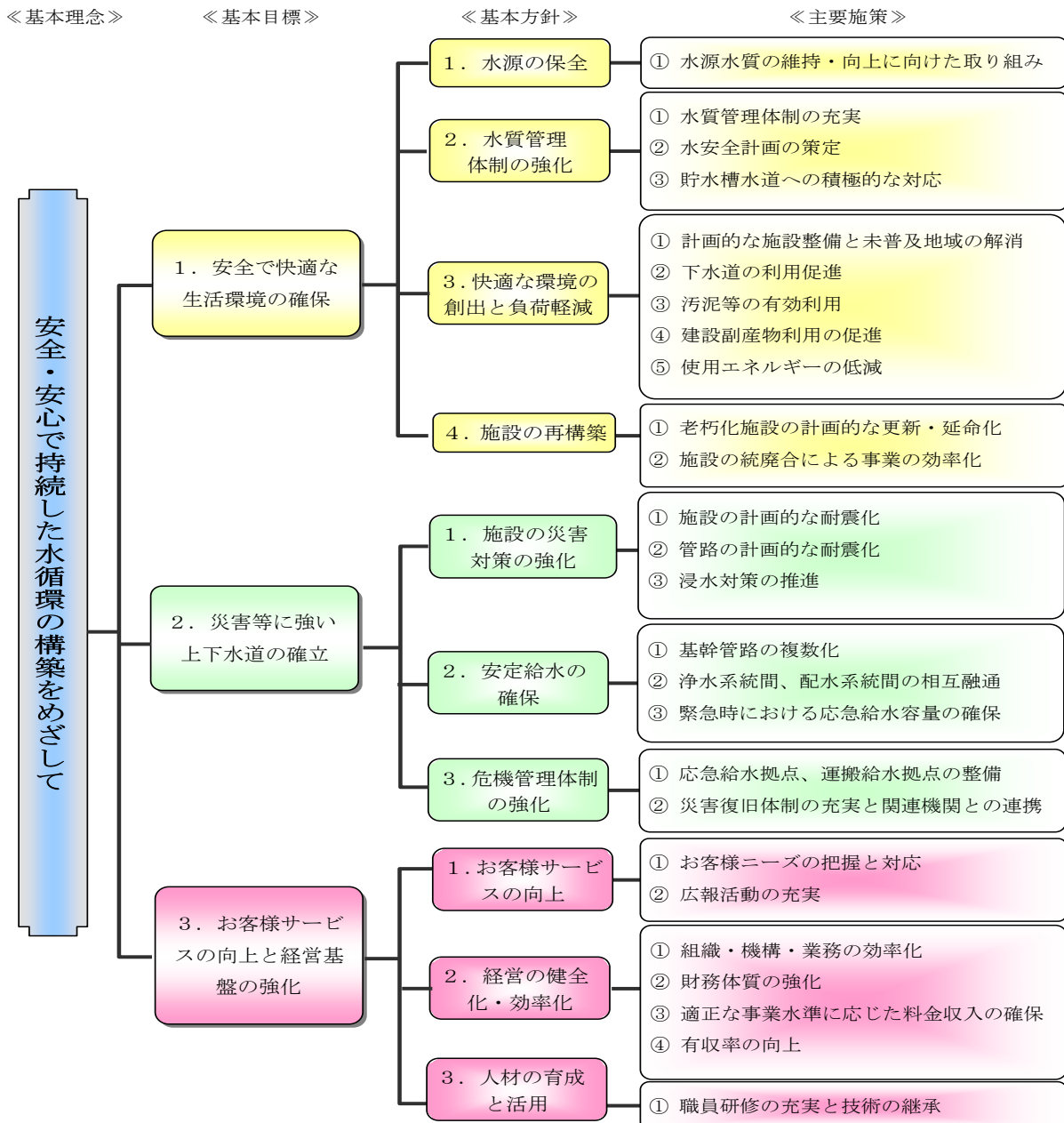
水需要の変化、施設の老朽化や地震などの災害等への備え、環境問題への対応、ライフスタイルの変化など上下水道事業を取り巻く課題に対応するため、10年間の経営戦略として策定しました。

計画期間：平成22年度～平成31年度までの10年間

具体的な計画の実現に向け、「中期経営プラン(前期)」を作成し前期5か年の取組み項目を定めました。



II. 実施計画体系図



Ⅲ. 数値目標一覧

基本目標1. 安全で快適な生活環境の確保

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20		目標 H26		目標 H31
1-3-① 水道普及率	水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区域内人口)	94.2%	⇒	96.5%	⇒	98.6%
1-3-① 下水道普及率	下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	99.5%	⇒	99.5%	⇒	99.6%
1-3-① 合流式下水道改善率	合流式下水道改善率 (分流式下水道並み整備面積/ 合流式下水道整備面積)	71.7%	⇒	100% (H25)		100.0%

基本目標2. 災害等に強い上下水道の確立

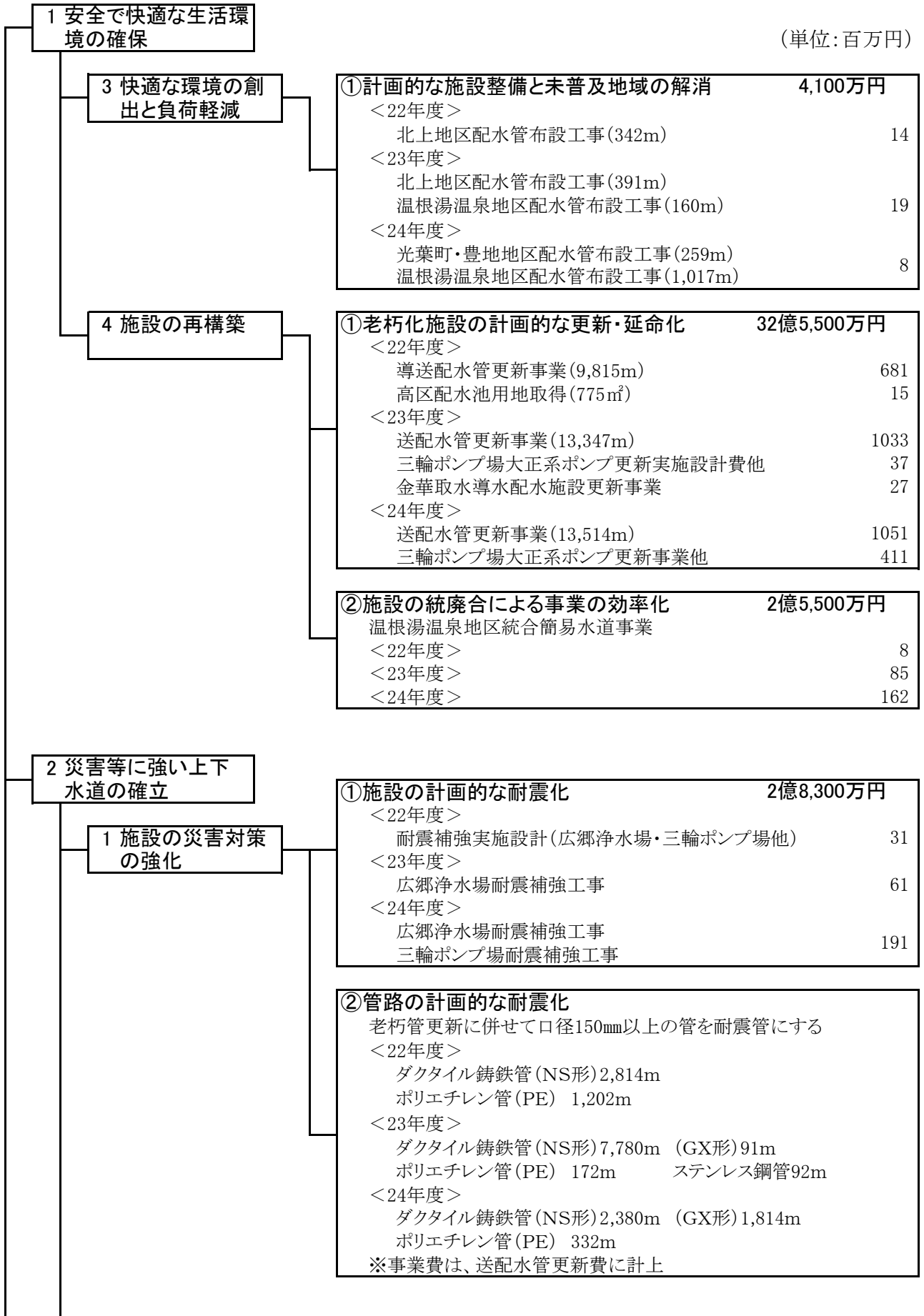
指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20		目標 H26		目標 H31
2-1-① 浄水場耐震化率	耐震化された浄水施設能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	7.0%	⇒	93.1%	⇒	93.1%
2-1-① ポンプ場耐震化率	耐震化されたポンプ場能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	29.6%	⇒	92.9%	⇒	92.9%
2-1-① 配水池耐震化率	耐震化された配水池容量の割合 (耐震性のある配水池容量/ 全配水池容量)	9.8%	⇒	25.9%	⇒	25.9%
2-1-② 水道管路耐震化率	耐震化された水道管路の割合 (耐震管延長/管路総延長)	0.5%	⇒	3.4%	⇒	6.1%
2-1-① 処理場の耐震化率	耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	13.8%	⇒	24.1%	⇒	32.2%
2-1-② 重要な下水幹線等の耐震化率	耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な 幹線等延長)	8.0%	⇒	9.0%	⇒	10.0%
2-1-③ 雨水面積整備率	雨水整備の計画面積に対する浸水 対策済みの面積割合 (雨水整備面積/公共下水道 事業認可区域面積)	54.9%	⇒	55.5%	⇒	55.9%

基本目標3. お客様サービスの向上と経営基盤の強化

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20		目標 H26		目標 H31
3-1-① アンケート情報収集割合	給水人口に対するアンケート調査回 答人数の割合 (アンケート回答人数/給水人口)	0.8%	⇒	1.0%	⇒	1.0%
3-1-② 上下水道事業に係る情報の提供度	広報誌などによる利用者への情報提供の割合 (広報誌発行部数/給水人口)	2.0%	⇒	3.0%	⇒	4.0%
3-2-④ 有収率	料金徴収の対象となる水量の割合 (有収水量/給水量)	76.9%	⇒	80.8%	⇒	84.4%

IV. 主な取組み状況(平成22~24年度)

◎水道事業

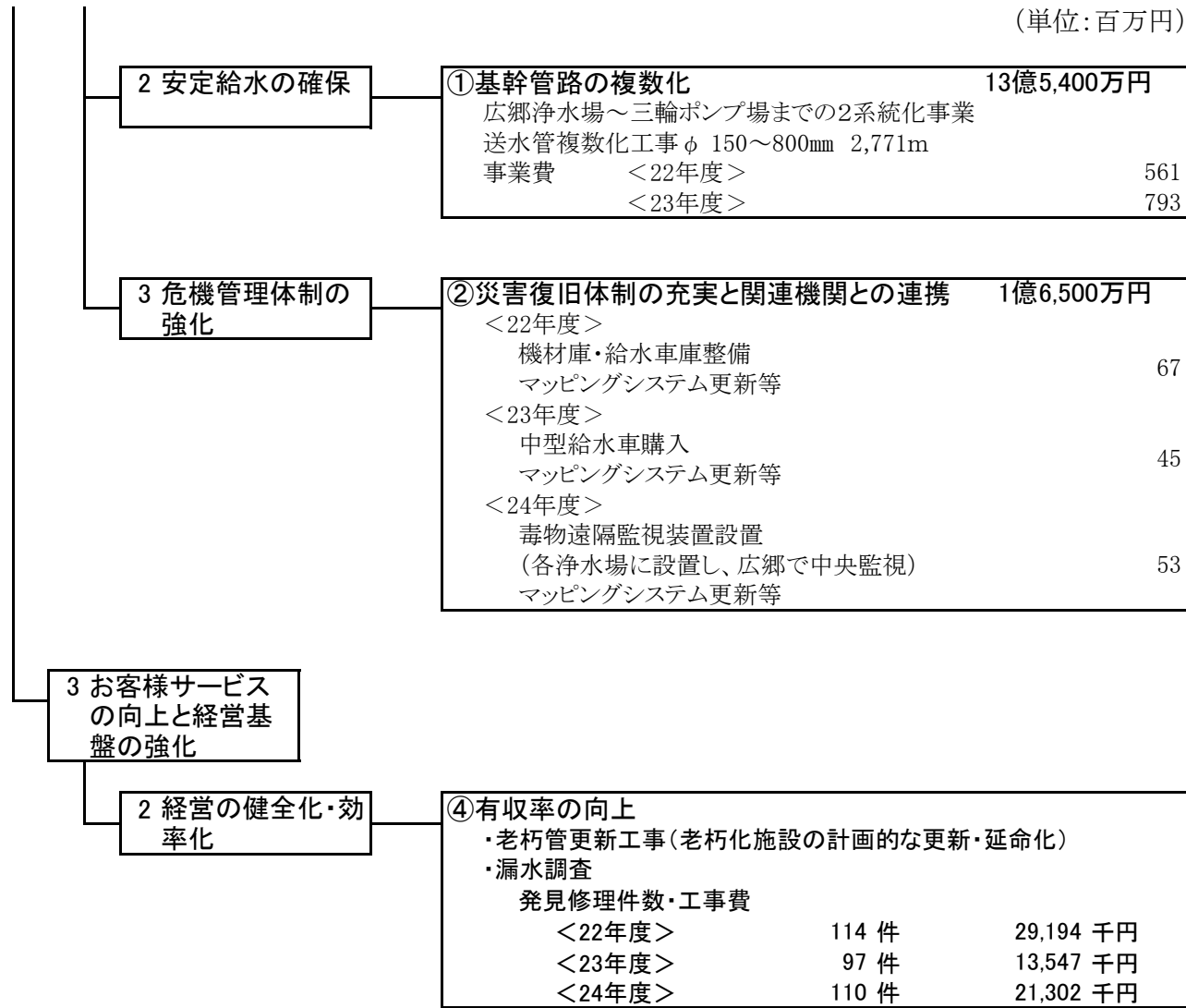


指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	実績 H24	目標	
				H26	H31
1-3-① 水道普及率	水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区域内人口)	94.2%	93.9%	96.5%	98.6%

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	実績 H24	目標	
				H26	H31
2-1-① 浄水場耐震化率	耐震化された浄水施設能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	7.0%	99.7%	93.1%	93.1%
2-1-① ポンプ場耐震化率	耐震化されたポンプ場能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	29.6%	84.9%	92.9%	92.9%
2-1-① 配水池耐震化率	耐震化された配水池容量の割合 (耐震性のある配水池容量/ 全配水池容量)	9.8%	27.1%	25.9%	25.9%

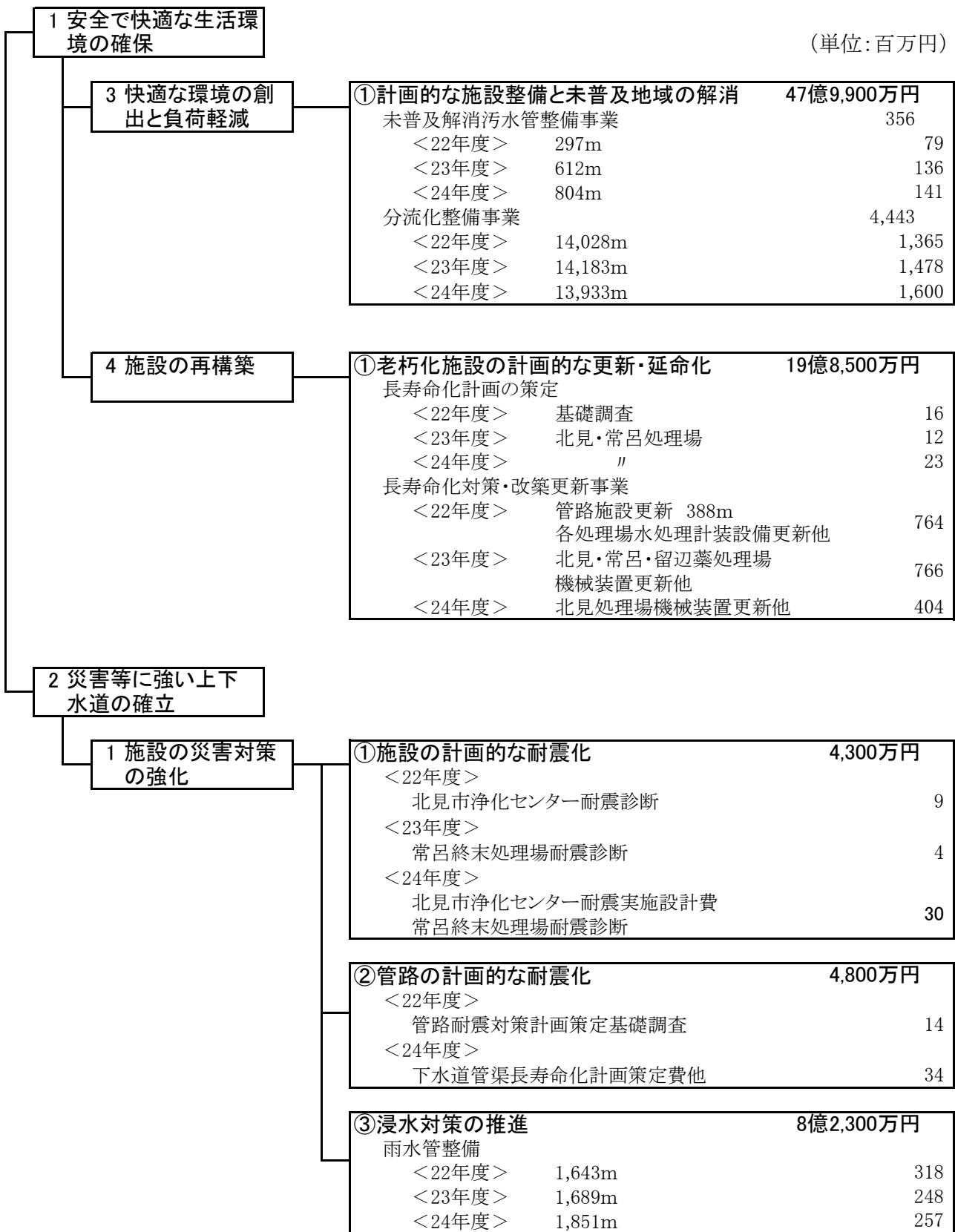
2-1-② 水道管路耐震化率	耐震化された水道管路の割合 (耐震管延長/管路総延長)	0.5%	3.3%	3.4%	6.1%
-------------------	--------------------------------	------	------	------	------

(単位:百万円)



指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	実績 H24	目標	
				H26	H31
3-2-④ 有収率	料金徴収の対象となる水量の割合 (有収水量/給水量)	76.9%	77.4%	80.8%	84.4%

◎下水道事業



指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	実績 H24	目標	
				H26	H31
1-3-① 下水道普及率	下水道・漁業集落排水が 利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	99.5%	99.7%	99.5%	99.6%
1-3-① 合流式下水道 改善率	合流式下水道改善率 (分流式下水道並み整備面積/ 合流式下水道整備面積)	71.7%	95.5%	100% (H25)	100.0%

2-1-① 処理場の耐震化率	耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	13.8%	13.8%	24.1%	32.2%
-------------------	--------------------------------------	-------	-------	-------	-------

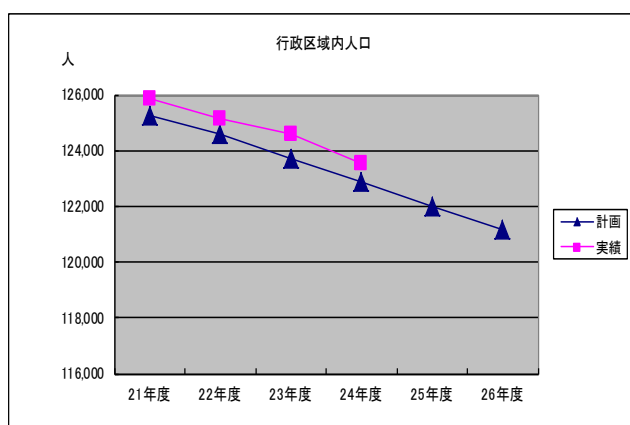
2-1-② 重要な下水幹線等 の耐震化率	耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な幹線等延長)	8.0%	8.0%	9.0%	10.0%
----------------------------	---------------------------------------	------	------	------	-------

V. 財政収支見通し

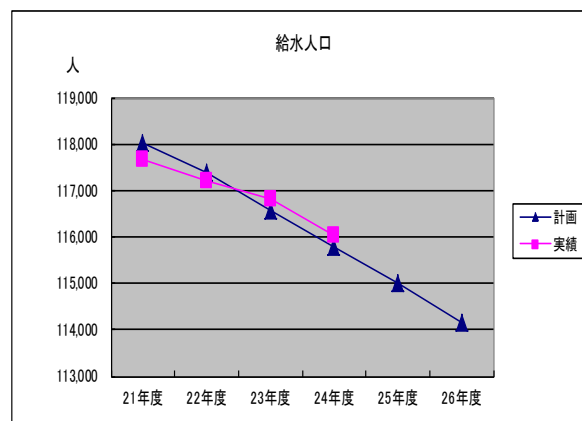
(1) 水需要量の状況

年 度		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
①行政区域内 人口 (人)	計画	125,270	124,570	123,710	122,860	122,010	121,160
	実績	125,876	125,158	124,607	123,525		
②給水人口 (人)	計画	118,040	117,380	116,580	115,770	115,000	114,170
	実績	117,678	117,191	116,830	116,040		
③給水戸数 (戸)	計画	65,900	65,890	65,820	65,750	65,700	65,260
	実績	66,290	66,272	66,580	67,012		
④有収水量 (m ³ /日)	計画	33,325	33,132	32,914	32,694	32,479	32,256
	実績	33,102	31,884	33,056	32,955		

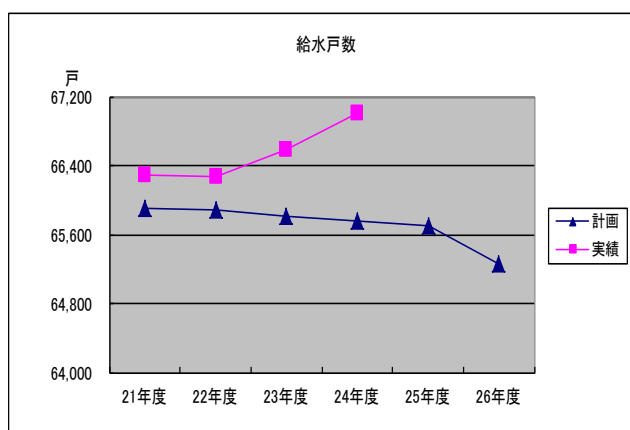
①行政区域内人口



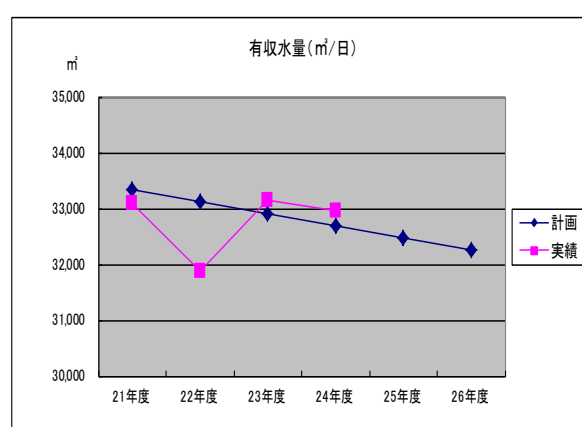
②給水人口



③給水戸数



④有収水量 (水道)



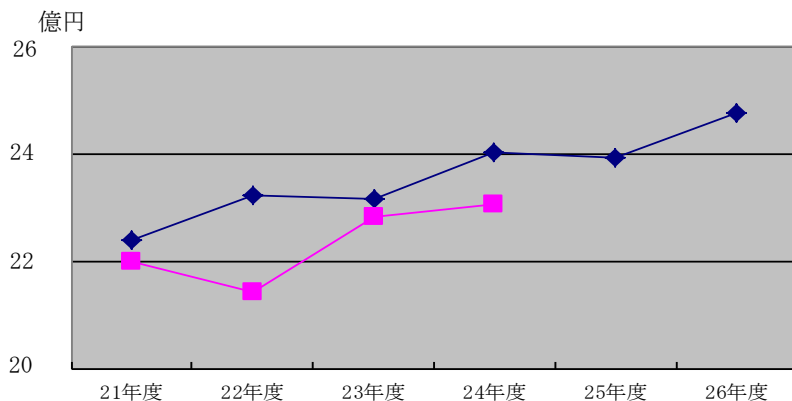
有収水量は、22年度において隔月検針・徴収の実施に伴い大幅に減となっておりますが、23・24年度の水量は、ほぼ計画どおりに推移し、需要量は横ばい・微減傾向であります。

※有収水量 : 料金徴収の対象となった水量

(2) 財政収支見通しと決算

◎水道事業

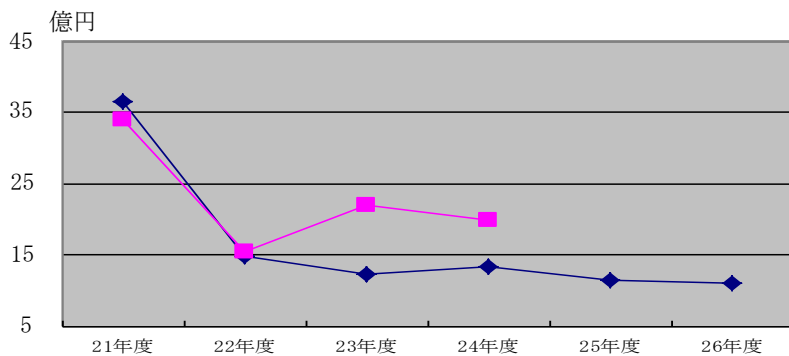
①料金収入



◆計画	22億 3,700万円	23億 2,300万円	23億 1,400万円	24億 100万円	23億 9,200万円	24億 7,400万円
■実績	21億 9,900万円	21億 4,200万円	22億 8,100万円	23億 500万円		

22年度は、隔月検針の実施に伴い、3月分料金の一部が次年度となったことによる減。また、料金改定の実施を当初22年4月としていたが、10月実施となったことによる減。24年度も料金改定実施時期のずれにより、計画を下回った。

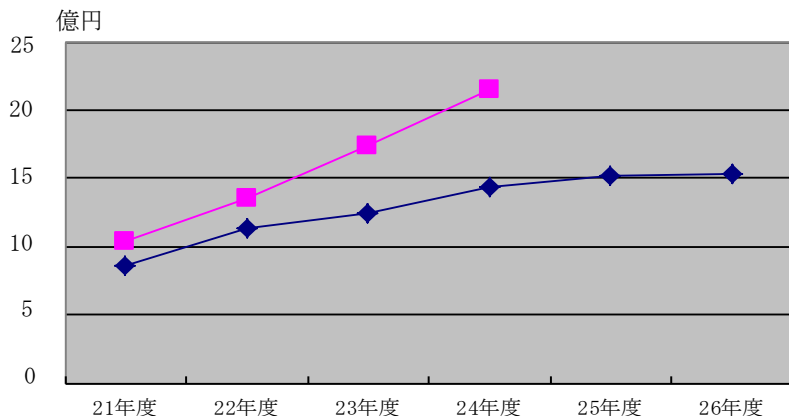
②建設改良費



◆計画	36億 4,700万円	14億 8,800万円	12億 2,500万円	13億 3,600万円	11億 4,200万円	11億 1,000万円
■実績	34億 500万円	15億 5,200万円	21億 8,500万円	19億 8,300万円		

23・24年度は、国の景気対策等に伴い、補助対象となる事業を前倒し実施したことにより、計画を上回った。

③資金残高

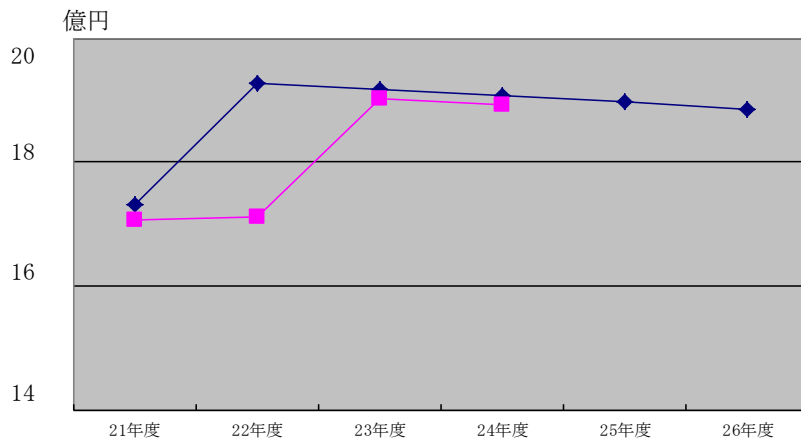


◆計画	8億 6,300万円	11億 2,800万円	12億 4,100万円	14億 4,000万円	15億 1,400万円	15億 2,900万円
■実績	10億 3,900万円	13億 5,600万円	17億 3,400万円	21億 5,100万円		

収入では、料金が計画を下回ったものの、支出において、職員給与費・物件費の抑制の取組みや低金利に伴い支払利息が下回ったことから、計画を上回る資金残高となった。

◎下水道事業

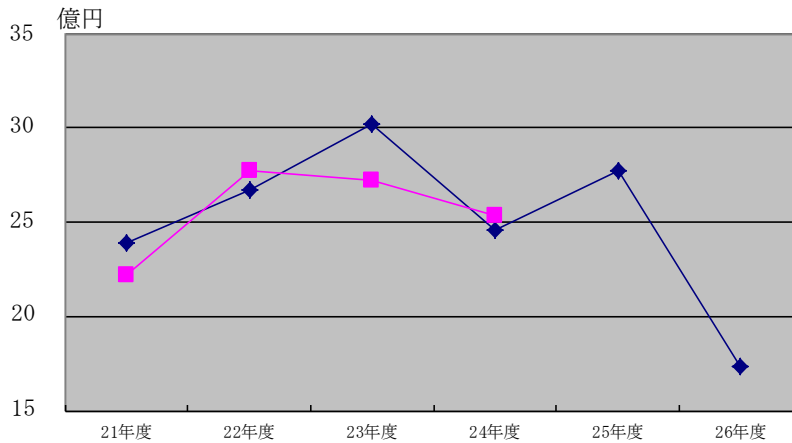
①使用料収入



22年度は、隔月検針の実施に伴い、3月分料金の一部が次年度となったことによる減。また、料金改定の実施を当初22年4月としていたが、10月実施となったことによる減。23・24年度は、計画をやや下回った。

◆計画	17億 3,200万円	19億 2,800万円	19億 1,800万円	19億 700万円	18億 9,700万円	18億 8,400万円
■実績	17億 600万円	17億 1,000万円	19億 300万円	18億 9,100万円		

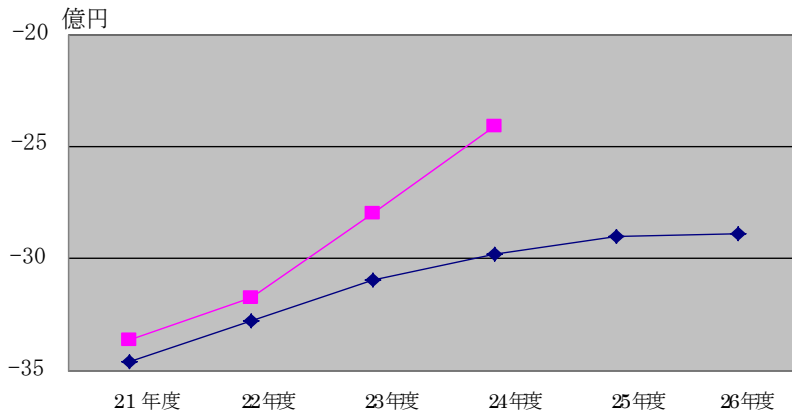
②建設改良費



事業の進捗状況等により、計画と年度間でばらつきがあるが、ほぼ予定どおり推移している。

◆計画	23億 8,600万円	26億 7,100万円	30億 1,700万円	24億 5,700万円	27億 7,000万円	17億 3,700万円
■実績	22億 1,800万円	27億 7,100万円	27億 2,200万円	25億 3,600万円		

③資金残高



収入では、使用料が計画を下回ったものの、支出において、職員給与費・物件費の抑制の取組みや低金利に伴う支払利息の軽減等により、計画を下回った。また、償還償却差額の一般会計からの負担金が増加した。これらにより、計画を上回る資金不足の解消となった。

◆計画	-34億 5,800万円	-32億 7,600万円	-30億 9,700万円	-29億 7,800万円	-28億 9,900万円	-28億 9,200万円
■実績	-33億 6,100万円	-31億 7,600万円	-28億 100万円	-24億 1,200万円		

参考：＜財政収支の見通し、計画・実績＞

◎水道事業
計画

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	6,127	4,463	4,077	4,289	4,138	4,131
うち料金収入	2,237	2,323	2,314	2,401	2,392	2,474
支払資金 (B)	6,234	4,198	3,964	4,090	4,064	4,116
うち建設改良費	3,647	1,488	1,225	1,336	1,142	1,110
収支差引 (C) = (A) - (B)	-107	265	113	199	74	15
資金残高 (C) + (前年度)	863	1,128	1,241	1,440	1,514	1,529

実績

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	5,859	4,244	4,867	5,066		
うち料金収入	2,199	2,142	2,281	2,305		
支払資金 (B)	5,790	3,927	4,489	4,649		
うち建設改良費	3,405	1,552	2,185	1,983		
収支差引 (C) = (A) - (B)	69	317	378	417		
資金残高 (C) + (前年度)	1,039	1,356	1,734	2,151		

◎下水道事業

計画

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	10,702	7,531	7,914	7,262	7,587	6,589
うち料金収入	1,732	1,928	1,918	1,907	1,897	1,884
支払資金 (B)	10,797	7,349	7,735	7,143	7,508	6,582
うち建設改良費	2,386	2,671	3,017	2,457	2,770	1,737
収支差引 (C) = (A) - (B)	-95	182	179	119	79	7
資金残高 (C) + (前年度)	-3,458	-3,276	-3,097	-2,978	-2,899	-2,892

実績

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	9,449	7,507	7,656	7,852		
うち料金収入	1,706	1,710	1,903	1,891		
支払資金 (B)	9,448	7,322	7,281	7,463		
うち建設改良費	2,218	2,771	2,722	2,536		
収支差引 (C) = (A) - (B)	1	185	375	389		
資金残高 (C) + (前年度)	-3,361	-3,176	-2,801	-2,412		

<参考>北見市上下水道ビジョン 数値目標の推移(平成23年度末現在)

基本目標1. 安全で快適な生活環境の確保

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20	実績数値				目標 H26	目標 H31
			H21	H22	H23	H24		
1-3-① 水道普及率	水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区内人口)	94.2%	93.5%	93.9%	93.8%	93.9%	96.5%	98.6%
1-3-① 下水道普及率	下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	99.5%	99.5%	99.6%	99.6%	99.7%	99.5%	99.6%
1-3-① 合流式下水道改善率	合流式下水道改善率 (分流式下水道並み整備面積/ 合流式下水道整備面積)	71.7%	77.0%	81.7%	88.5%	95.5%	100% (H25)	100.0%

基本目標2. 災害等に強い上下水道の確立

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20	実績数値				目標 H26	目標 H31
			H21	H22	H23	H24		
2-1-① 浄水場耐震化率	耐震化された浄水施設能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	7.0%	13.5%	13.5%	13.5%	99.7%	93.1%	93.1%
2-1-① ポンプ場耐震化率	耐震化されたポンプ場能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	29.6%	29.6%	29.6%	29.6%	84.9%	92.9%	92.9%
2-1-① 配水池耐震化率	耐震化された配水池容量の割合 (耐震性のある配水池容量/ 全配水池容量)	9.8%	26.9%	26.9%	26.9%	27.1%	25.9%	25.9%
2-1-② 水道管路耐震化率	耐震化された水道管路の割合 (耐震管延長/管路総延長)	0.5%	1.3%	1.6%	2.2%	3.3%	3.4%	6.1%
2-1-① 処理場の耐震化率	耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	24.1%	32.2%
2-1-② 重要な下水幹線等の耐震化率	耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な 幹線等延長)	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	9.0%	10.0%
2-1-③ 雨水面積整備率	雨水整備の計画面積に対する浸水 対策済みの面積割合 (雨水整備面積/公共下水道 事業認可区域面積)	54.9%	55.6%	55.8%	56.8%	57.7%	55.5%	55.9%

基本目標3. お客様サービスの向上と経営基盤の強化

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	現状 H20	実績数値				目標 H26	目標 H31
			H21	H22	H23	H24		
3-1-① アンケート情報収集割合	給水人口に対するアンケート調査回 答人数の割合 (アンケート回答人数/給水人口)	0.8%	0.8%	—	—	—	1.0%	1.0%
3-1-② 上下水道事業に係る情報の提供度	広報誌などによる利用者への情報提 供の割合 (広報誌発行部数/給水人口)	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	3.0%	4.0%
3-2-④ 有収率	料金徴収の対象となる水量の割合 (有収水量/給水量)	76.9%	76.5%	71.7%	77.2%	77.4%	80.8%	84.4%